

授業科目名・形態	コミュニケーション技術 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	脇山園恵	開講期	1年前期	単位数	2

【授業の主題】

対人援助において重要なことは、いかに相手と信頼関係を築くことができるかである。他者との意思疎通能力が備わっていないければ、いくら多くの専門知識を身につけたとしても利用者と信頼関係を築くことは難しい。

本講では、介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や家族、あるいは多職種協働において実践可能なコミュニケーション技法を応用的に学ぶ。

【到達目標】

- 1) 介護におけるコミュニケーションの基礎について、一般的なコミュニケーションの意義と目的を土台に、介護におけるコミュニケーションの役割と効果の違いから理解できる。
- 2) 利用者・家族や他職種と信頼関係を築くために必要な介護場面におけるコミュニケーション技法について、コミュニケーションの過程（言語・非言語を含む情報の送受信）から具体的に理解できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 介護におけるコミュニケーション（意義と目的）
- 第 3回 介護におけるコミュニケーション（役割と効果）
- 第 4回 介護における生活支援とコミュニケーション
- 第 5回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：話を聴く技法
- 第 6回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：感情表現を察する技法
- 第 7回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：納得と同意を得る技法
- 第 8回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：質問の技法
- 第 9回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：相談・助言・指導の技法
- 第 10回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：意欲を引き出す技法
- 第 11回 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション：意向を調整する技法
- 第 12回 複数の利用者がある場面でのコミュニケーションの技法
- 第 13回 その他のコミュニケーション：指示・助言・支持の技法
- 第 14回 その他のコミュニケーション：アイメッセージの技法
- 第 15回 その他のコミュニケーション：アサーションの技法

【授業実施方法】 講義を中心とし、必要に応じてロールプレイやグループワークを取り入れる。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本 I～VI、介護過程 I～V、人間の理解 I・II、生活支援技術論 I・II、日常生活支援技術演習 I～X など

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術 第3版』中央法規出版。

【参考文献】

授業の中で紹介する。

【成績評価方法】

平常点 10%、小テスト 10%、レポート 20%、期末試験（筆記）60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実践現場を意識した予習・復習と授業におけるロールプレイやグループワークによる体験が相乗することで学習効果は何倍にも膨らみます。主体的・積極的に取り組んでください。